

墨田区（報道）

平成29年11月16日

～すみだの未来を担っているのはキミだ！～

高校生が墨田区の未来を考える「FUTURE MAKING DIALOGUE」の ゲストトークを本日開催！

本日、都立本所高等学校（向島三丁目37番25号 校長：山下 康弘）1年生の総合的な学習の時間で、高校生が墨田区の未来を考えるプログラム「FUTURE MAKING DIALOGUE」を開催した。

「FUTURE MAKING DIALOGUE」は、本所高等学校が立地する身近な地域である墨田区を題材に、高校生がまちの未来について対話を通して考える全5回の連続プログラムで、NPO法人 THOUSAND-PORT（向島二丁目12番4号504）協力の下で行うもの。本日のゲストトークでは、高野 祐次・墨田区副区長を招いて、墨田区について理解を深めた。

午後1時15分、240名の生徒が同校体育館へ集まり、ゲストトークがスタート。高野副区長から墨田区の現状・課題や墨田区基本計画の概要などを説明し、生徒たちはメモを取りながら熱心に話を聞いていた。ゲストトーク後の質疑応答では、「いじめ対策の取組」や「大学誘致の活動」、「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた区の取組」など、高校生が感じる区政の課題とその対応を高野副区長へ質問。高野副区長は一つ一つ高校生にもわかりやすく丁寧に回答した。最後にゲストトークの感想をグループになって共有し、午後2時30分終了。

本ゲストトークを聞いた生徒は「墨田区が行っている施策について大まかに理解できた。スカイツリーだけじゃない墨田区の魅力をこれから考え、多くの方に知ってもらいたい。」と話していた。

本日のゲストトークを踏まえ、生徒たちは11月30日（木）に墨田区基本計画で掲げる「すみだの夢」が“実現できたミライ”を想像し、その実現理由を考える。12月～1月初め頃にはその実現のために「高校生の私たちに今出来ること」をWEBニュースの記事風にまとめ、1月中ごろに内容を発表する予定。

<総合的な学習の時間について>

総合的な学習の時間は、平成10年7月に出された教育課程審議会の答申に基づいて、平成12年度に小学校から高校まで一斉にスタートした。子どもが自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとして実施されている授業。思考力・判断力・表現力等が求められる「知識基盤社会」の時代において、ますます重要な役割を果たすものとされている。

《写真》 ～ ゲストトークの様子

《問合せ》 広報広聴担当 TEL5608-6220